

みやぎけん だい は たいおう 宮城県の「第8波」への対応について

みやぎ医療ひっ迫危機宣言の延長
(2/13 まで)

▽ 新型コロナウイルスに感染する人の数や、病院のベッドを使っている率が高い状態が続いています。医療が厳しい状態も続いています。だから、宮城県は「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」を続けます（長くする期間：1月17日～2月13日）

→①医療が厳しくならないように②感染を少なくするために宮城県に住んでいる人へのお願いを続けます。

いま かぶたいさく 今やっているオミクロン株対策



① ワクチン接種を早く受けます



② 学校や保育所で感染を防ぐ対策をしっかりとします



③ 高齢者・障害者が施設を使えるように感染を防ぎます



④ テレワークや時差出勤などができる人をもっと増やします

かんせん ふ しゃかい けいざい えいきょう 感染が増えたときの社会や経済への影響

① 多くの感染・濃厚接触した人が仕事を休みます

② 多くの「濃厚接触者ではないけど感染した人と接触した人」が出ます

ひと あ ひと いどう ふ 人に会うこと・人の移動が増えます

① 旅行など

② 季節の行事（新年会 <= 1 年の始めに行われる食事会 > など）に参加すること

せんげん あいだ みやぎけん す ひと ねが 「宣言」している間の宮城県に住んでいる人へのお願い (2022年11月30日-2023年2月13日) ※続けます

いりよう つづ
医療が続け
られるように
すること

- ✓ 検査キットを使って自分で検査をします（発生届の対象ではない人）
- ✓ 救急外来に行く、救急車を呼ぶのは、症状がとても悪い時だけにします

かんせん ひろ
感染が広が
らないように
すること

- ✓ 基本的な感染を防ぐ対策をまたしっかりとします（特に旅行、季節の行事の時はしっかりとします）
- ✓ ワクチン接種を早く受けます
- ✓ 旅行に行く時などはいつも検査を受けます
- ✓ 具合が悪いときは家にいます
- ✓ 習い事や友だちと集まる時は対策をしっかりとします

ぎょうむ つづ
業務が続く
ようにする
こと

- ✓ 多くの人が休んでも業務が続くようにします
- ✓ 「濃厚接触者ではないけど感染した人と接触した人」が仕事を休まなくてもいいようにします
- ✓ 一時的に業務ができなくても大丈夫なように準備します

みやぎけん す ひと ねが みやぎけん ぜんぶ 宮城県に住んでいる人へのお願い【宮城県全部】

2022年11月30日～2023年2月13日（今やっている対策を続けます）

【医療が続けられるようにすること】

- 発生届の対象でない人は、検査キットを使って自分で検査をしたり、陽性者サポートセンターを使います。
- 病院が大変にならないように、救急外来に行く、救急車を呼ぶのは、症状がとても悪い時だけにします。

【感染が広がらないようにすること】

- 部屋の空気を入れ替えたり、不織布のマスクをしたり、手をしっかり洗います。みんなが感染を防ぐ対策をしっかりとします。
- 他の人と近くで話すときなどは、マスクをしっかりとつけます。
- 感染したときのために、薬や検査キット、食べ物や、生活に必要なものを準備します。
- いつも健康に注意して、発熱・せき・のどの痛みなど、少しでも体調が悪いときは家にいます。
- 感染リスクの高いところへはなるべく行きません。感染が広がる行動はできるだけしません。
- 習い事・学習塾、友だちと集まる時は、感染に特に気をつけます。
- できるだけ早くオミクロン株に対応したワクチン接種を受けます。
- 生まれてから6か月から11歳の子どもの保護者＜＝親など＞は、子どもがワクチン接種を受けるかどうか考えます。
- 飲食店を選ぶときは、認証店などの感染対策をしっかりとっている店にします。店の感染対策ルールを守ります。
- 他の人と食事をするときは、短い時間にします。大きな声で話しません。話すときはマスクをしっかりとつけます。「うつさない」「うつらない」行動をします。
- 旅行するとき、宮城県の外に行くとき、大きなイベントに参加するときは、感染対策をしっかりとします。行った場所の感染対策ルールを守ります。
- 感染者と接触した時は早く検査を受けます。ふるさとに帰る時などで、高齢者や病気がある人などコロナウイルスに感染すると症状がとても悪くなる人に会う前には、検査をします。高齢者施設などを使う人は、一時的に家に帰るときに、いつも検査をします。

※「選ぶ！選ばれる!!みやぎ飲食店コロナ対策認証制度」の認証店